

日本臨床検査専門医会

平成 22 年度第二回全国幹事会議事録

平成 22 年 6 月 4 日

平成22年度 第二回全国幹事会 議事録

日 時：成22年6月4日（金） 午後4時15分～午後5時55分

場 所：リーガロイヤルホテル小倉 4F 小宴会場 梅

出席者：渡辺 清明、佐守 友博、山田 俊幸、土屋 達行、村田 満、
東條 尚子、安東由喜雄、小田桐恵美、康 東天、北島 勲、
木村 聡、幸村 近、諏訪部 章、田窪 孝行、宮澤 幸久、
水口 國雄

陪席者：大田 俊行

事務局：藤本 梨恵

欠席者：渡邊 卓、矢富 裕、尾崎由基男、熊坂 一成、小柴 賢洋、
三家登喜夫、日野田裕治、船渡 忠男、前川 真人、松尾 収二、
三井田 孝、満田 年宏、盛田 俊介、高木 康

議事の審議内容及び議決の結果

渡辺会長が開会を宣し、3分の1以上の出席を満たしているため、総会の定足数に準拠し本会議成立を確認の上、議長として渡辺会長を満場一致にて選任。議長より挨拶の後、議案の審議に入った。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次の者を選任した。

議事録署名人 安東由喜雄幹事、幸村 近幹事

第二号議案 全国幹事会と常任幹事会の開催について

議長より、全国幹事は常任幹事も含むため、本会を平成22年度第二回全国幹事会とし、常任幹事会とは別とする。よって、以降、9月9日は第三回全国幹事会、10月22日は第3回常任幹事会、12月17日は第4回常任幹事会と変更する旨の説明があった。議長より議場に賛否を諮ったところ、全員異議なく当該議案は可決された。

第三号議案 平成21年度決算報告について

議長は、平成21年度の決算報告について、その詳細を東條庶務・会計幹事に説明させた上、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。なお、決算報告については、本議事録の末尾に添付する（資料1）。

第四号議案 平成22年度修正予算案について

議長は、本年度の予算案について、その詳細を東條庶務・会計幹事に説明させた。おもな修正点は、①収入は会員会費・賛助会費の100%徴収額とする、②単年度の収支を0円とする、③ホームページ更新費を新たに計上する、の3点である。議長は、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。なお、予算案については、本議事録の末尾に添付する（資料2）。

第五号議案 教育研修セミナーの見直しについて

山田教育・研修委員長より同案について説明があった。

1. 現行のGMLセミナーを一旦中止し、『生涯教育講演会』として、検査室管理を中心とした2時間程度の講演会を実施する。次年度は春季大会に連動して行う。受講者だけでなく、全専門医を対象とし、将来的には、学会総会時での開催、出席の義務付けなどを提案したい。専門医更新の必修単位とするよう臨床検査医学会に諮りたい。
2. 実技講習セミナーは、将来的には実施が困難になることが予想されるため、各地で研修してもらおう構想がある。実際にそのようなことが可能かどうか調査するためのアンケートを実施したい。

上記原案に対し、審議の結果、議長より議場に賛否を諮ったところ、全員異議なく当該議案は可決された。なお、本件議案については、以下の意見があった。

（宮澤幹事）更新資格のクレジット対象となるセミナー・講演会の候補がいくつかあり、『生涯教育講演会』は候補中のひとつと考えられる。

（渡辺会長）日本臨床検査医学会の臨床検査専門医・管理医審議会で提案するようにする。

第六号議案 事務局の移転について

議長は、現在の事務局を移転する必要があることを詳細に東條庶務・会計幹事に説明させた上、これを議場に諮り、全員異議なく承認可決した。

1. 事務局移転の場所：

〒101-0027 東京都千代田区神田平河町1番地 第3東ビル9階908号

2. 移転日：平成22年 6月11日（金曜日）

第七号議案 会則改定について

議長の指名により、土屋資格審査・会則改定委員長は、事務局の移転に伴い、本会の会則第一章 総則 第2条ならびに付記 1. を下記のとおり変更したい旨の説明した後、その賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

記

第1章 総則

第2条

本会の事務局は東京都千代田区神田平河町1番地 第3東ビル9階908号に置く。

付則 1. この会則は平成22年6月5日から施行する。

第八号議案 第22回春季大会について

議長より、平成24年度開催予定の第22回春季大会について説明があった。開催候補地は中国・四国地方であり、前回の全国幹事会で山口大学の日野田裕治教授に大会長の推薦を依頼していたが、日野田先生ご自身から事前に立候補があった。議長は、これを議場に諮り、全員異議なく次のとおり選任した。

記

第22回日本臨床検査専門医会 春季大会 大会長

日野田裕治教授（山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学分野）

なお、被選任者は、幹事会に欠席であったが、承認された場合は承諾する旨の事前の意思表示があった。

第九号議案 第37回日本臨床検査専門医会総会における講演会について

議長の指名により、東條庶務・会計幹事から下記のとおり説明があった。議長はこれを議場に諮り、全員異議なく承認可決した。

記

日時：平成22年9月9日14時10分～15時

場所：京王プラザホテル

座長：渡邊 卓教授（杏林大学医学部臨床検査医学）

演者：諏訪部 章教授（岩手医科大学医学部臨床検査医学講座）

演題名：チーム医療における検査専門医の役割

～臨床検査を医療の裏方から表舞台へ～

第十号議案 臨床検査ネットQ&Aの運用について

議長の指名により、東條庶務・会計幹事から説明があった。メールを通して事務局への依頼が年に2-3件ある。庶務・会計幹事が振り分け係となり、回答者リストをもとに依頼する。ホームページ掲載の可否については教育委員会に一任したい。

上記原案に対し、審議の結果、議長より議場に賛否を諮ったところ、全員異議なく当該議案は可決された。なお、本件議案については、以下の意見があった。

(土屋幹事) 臨床検査ネットQ&Aは、土屋幹事、木村幹事、西堀幹事(当時)で立ち上げたもので、運用は今回の提案とほぼ同じ。回答者は要覧の専門分野をみて選定した。質問が多くなり対応困難になったため、会員専用にした経緯がある。

(宮澤幹事) 要覧に記載されている専門分野に数の制限がなく、優先順位もついていないため、主たる専門領域がわからない。次回の要覧ではこの点を考慮してほしい。

第十一号議案 弔慰に関する申し合わせ

議長の指名により、東條庶務・会計幹事は、平成16年12月3日常任幹事会制定の「日本臨床検査専門医会弔慰についての申し合わせ」において、(8)ならびに備考1の「振興会員」を「賛助会員」に変更したい旨の説明の後、その賛否を議場に諮った。

本件議案については、佐守副会長より、(7)関係団体、(8)賛助会員の順序を逆とし、(7)賛助会員、(8)関係団体 としてほしいとの意見があった。

上記原案ならびに佐守副会長の意見に対し、審議の結果、議長より議場に賛否を諮ったところ、全員異議なく当該議案は可決された。なお、弔慰に関する申し合わせについては、本議事録の末尾に添付する(資料3)。

報告事項

(1) 各種委員会報告

① 情報・出版委員会

矢富委員長欠席のため代理の東條庶務・会計幹事より、以下の活動報告があった。

- 1) Lab CP 28巻1号「保険診療と臨床検査」は平成22年7月に発刊予定である。28巻2号以降の構成案を募集している。
- 2) JACLaP WIREは、「会員限定版」と「非 会員限定版」の使い分けを開始した。
- 3) JacLAP NEWS はNo. 107号を平成22年5月に発刊した。若干の遅れはあるものの順調に発刊されている。
- 4) 日本衛生検査所の協会誌『ラボ』に、『気になる「癌と検査のこと」専門医が教えます』を順調に継続している。
- 5) 要覧は名簿確認中である。各種レポートの例を募集中である。

木村副委員長より、要覧の巻末に掲載レポートを募集したが不足している。どのようなレ

ポートが不足しているのかを調査し、個別に依頼する予定があるとの意見があった。

② 教育・研修委員会

山田医院長より、平成22年度教育セミナーの報告があった。

記

第7回GLMセミナー	4月25日(日)	東京八重洲ホール	参加者17名
第76回教育セミナー	5月9日(日)	自治医科大学	参加者27名
第77回教育セミナー	5月23日(日)	順天堂大学	参加者28名

③ 資格審査・会則改定委員会

特になし。

④ 渉外委員会

佐守委員長より、第27回臨床検査振興セミナーについて下記の通り報告があった。

記

テーマ：これからの診療報酬改定 ～おもに臨床検査に関して～ (仮題)

日時：平成22年7月22日(木) 14時～

場所：東京ガーデンパレス

座長：渡邊 卓 教授(杏林大学) (案)

演者：2名ないし3名を予定

厚生労働省 保健局 医療課 担当官(人選中)

米山 彰子先生(虎の門病院 中央検査部 部長)

⑤ 保険点数委員会

渡辺清明委員長より、以下の報告があった。

次期診療報酬改定に向け、内保連 検査関連委員会で新たに立ち上げた、生体検査ワーキンググループに専門医会か以下の委員を推薦した。

記

循環器WG：谷口信行教授(自治医科大学)

消化器WG：池田 均講師(東京大学)、狩野有作内保連委員、

神経・精神WG：湯本真人准教授(東京大学)、

呼吸器WG：東條尚子内保連委員

また、保連委員平成24年度次期診療報酬改定に向け、6月10日(木)に委員会を日本臨床

検査医学会の臨床検査点数委員会（米山彰子委員長）との合同開催で行う予定であるとの報告があった。

（２）ワーキンググループ報告

ワーキンググループ報告に先立ち、渡辺会長からワーキンググループ設置の経緯について概略説明があった。平成20年度からの2年間で、「臨床検査専門医あり方委員会」を設置し、専門医はどうあるべきか、何をなすべきかを討議したが、結論がでなかった。そこで、①専門医の数を増やす、②標榜科についてを継続討議することとし、「専門医数増加方策検討WG」、「専門医広告・啓発促進WG」の2つのワーキンググループを立ち上げた。

① 専門医数増加方策検討ワーキンググループ

木村委員長から以下の報告があった。

本幹事会に先立ち、平成22年6月4日15時から16時、リーガロイヤルホテル小倉にて、渡辺会長にも参加いただき、第一回ワーキンググループ会議を開催した。1名の欠席を除き9名の委員が参加し、活発な討議が行われた。勧誘対象を1)若い医師、2)女性医師、3)ベテラン医師とし、1)ジェネラリスト志向の強い若い医師を対象とした、実務を研修できるプログラムを学術集会に組み込む、2)女性医師を対象としたホームページへのロールモデルの掲載、3)ベテラン医師を対象とした精度管理、診療報酬、管理加算Ⅳの取り方に関するセミナーの開催などを通して、検査専門医に関心をもってもらうよう働きかけてはどうかという意見が出た。第2回WGを日本臨床検査医学会学術集会時に開催し、さらに具体的に検討する予定である。なお、本件議案については、以下の意見があった。

（宮澤幹事）検体検査管理加算Ⅳについては、セミナーで「取得方法」を提示するべきものではない。

② 専門医広告・啓発促進ワーキンググループ

村田委員長より、以下の報告ならびに提案があった。

村田委員長の推薦により、康 東天委員、小柴 賢洋委員、諏訪部 章委員が渡辺会長から任命された。

本幹事会に先立ち、平成22年6月4日15時から16時、リーガロイヤルホテル小倉にて、日本臨床検査医学会 広報委員会との合同委員会（佐守友博委員長）が開催された。1)一般の皆さまに認知してもらう方策、2)専門医の広告を可能にする方策、3)専門医にインセンティブをつける方法の整備について、今後検討する予定であるとの報告があった。なお、本件議案については、以下の意見があった。

（佐守副会長）一般市民への啓発活動として、臨床検査振興協議会では11月11日を「検査の

日」と定め、イベントを検討中である。

(渡辺清明会長) 基本領域学会の中で、検査専門医だけが人数が少なく専門医広告を認められていない。積極的に専門医を増やす必要がある。

(宮澤幹事) 日本専門医評価・認定機構において、日本臨床検査医学会は「基本領域の学会」であるが、「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等」に認定されていない。その理由は、「専門医資格を認定する団体の基準」の“会員数の8割以上が医師または歯科医師であること”という条項を満たさないためである。厚生労働省は、2015年までは専門医の告示に関する基準等の見直しは行わない方針のようである。日本医学放射線学会の会員は100%医師であり、認定を受けている。日本超音波医学会の正会員は医学科・歯学科・獣医学科・理工科卒であり、臨床検査技師・診療放射線技師・看護師は準会員である。日本臨床細胞学会は、正会員と技師会員を分けている。

(2) 第21回春季大会について

諏訪部章大会長から挨拶ならびに下記の説明があった。シンポジウムは一般公募する予定である。前日の6月10日に「生涯教育講習会」を計画している。特別講演は、岩手医科大学長の小川 彰先生に依頼している。また、懇親会で「わんこそば大会」を企画しており、2009年わんこそばチャンピオンの菅原初代さんをゲストに迎える予定である旨の報告があった。

記

日時：平成23年6月11日（土）

場所：いわて県民情報交流センター アイーナ会議室 804

大会長：諏訪部 章 教授（岩手医科大学臨床検査医学講座）

テーマ：臨床検査専門医の新たな挑戦

(3) その他

① 新規賛助会員用の趣旨書について

議長の指名により、東條庶務・会計幹事より、新規賛助会員用の趣意書を作成した旨の説明があった。重ねて、今年度だけで4団体から脱会の意思表示があったため、新規の賛助会員の獲得にご協力をいただきたい旨の依頼があった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 22 年 8 月 1 日

安東 由喜雄 印

平成 22 年 8 月 12 日

幸村 近 印

日本臨床検査専門医会 平成21年度決算報告書

		項目	平成21年度予算	平成21年度決算	予算との差額		
収 入	会 費 入 金	会員会費	5,700,000	5,095,000	-605,000		
		振興会会費	4,200,000	3,100,000	-1,100,000		
		雑収入	150,000	162,027	12,027		
		小計①	10,050,000	8,357,027	-1,692,973		
	そ の 他 入 金	広告収入	600,000	424,000	-176,000		
		教育セミナー参加費	900,000	800,000	-100,000		
		振興セミナー参加費		92,000	92,000		
		利息・雑収入	10,000	32,432	22,432		
		前年度繰越金	15,531,038	15,531,038	0		
		小計②	17,041,038	16,879,470	-161,568		
A. 収入合計 ①+②			27,091,038	25,236,497	-1,854,541		
支 出	庶 務 経 費	事務局雑費	220,000	145,070	74,930		
		通信費（事務局）	220,000	165,484	54,516		
		人件費	2,200,000	1,596,240	603,760		
		FAX・電話使用料	40,000	50,086	-10,086		
		会員登録	10,000	5,271	4,729		
		事務所賃貸料	1,050,000	946,639	103,361		
		設備費	250,000	81,532	168,468		
		小計①	3,990,000	2,990,322	999,678		
	必 要 経 費	印刷代	2,100,000	2,461,253	-361,253		
		要覧印刷代	600,000	0	600,000		
		通信費	1,250,000	918,351	331,649		
		春季大会補助金	500,000	600,000	-100,000		
		臨床検査振興セミナー	700,000	989,136	-289,136		
		GLM補助金	800,000	593,109	206,891		
		教育セミナー補助	1,200,000	1,104,048	95,952		
		会議費	1,300,000	1,412,556	-112,556		
		交通費	50,000	43,530	6,470		
		宿泊費	0	10,000	-10,000		
		原稿料	150,000	0	150,000		
		HP維持費	250,000	206,220	43,780		
		JCCLS会費	50,000	50,000	0		
		WASPALM会費	60,000	78,168	-18,168		
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0		
		内保連会費	100,000	100,000	0		
		予備費	300,000	237,774	62,226		
		小計②	9,710,000	9,104,145	605,855		
		B. 支出合計 ①+②			13,700,000	12,094,467	1,605,533
		収支決算 A-B			13,391,038	13,142,030	-249,008
		次年度繰越金			13,391,038	13,142,030	

日本臨床検査専門医会 平成22年度予算案

		項 目	平成21年度予算	平成22年度予算案	
収 入	会費入金	会員会費	5,700,000	7,050,000	
		賛助会員会費	4,200,000	4,000,000	
		雑収入	150,000	150,000	
		小 計①	10,050,000	11,200,000	
	その他入金	広告収入	600,000	600,000	
		教育セミナー参加費	900,000	800,000	
		振興セミナー参加費		100,000	
		利息・雑収入	10,000	20,000	
		前年度繰越金	15,531,038	13,142,030	
	小 計②	17,041,038	14,662,030		
	A. 収入合計 ①+②			27,091,038	25,862,030
	支 出	庶務経費	事務局雑費	220,000	150,000
通信費（事務局）			220,000	170,000	
人件費			2,200,000	1,800,000	
FAX・電話使用料			40,000	40,000	
会員登録			10,000	10,000	
事務所賃貸料			1,050,000	950,000	
設備費			250,000	150,000	
小 計①			3,990,000	3,270,000	
必要経費		印刷代	2,100,000	2,000,000	
		要覧印刷代	600,000	600,000	
		通信費	1,250,000	950,000	
		春季大会補助金	500,000	500,000	
		臨床検査振興セミナー	700,000	850,000	
		GLM補助金	800,000	600,000	
		教育セミナー補助	1,200,000	900,000	
		会議費	1,300,000	1,000,000	
		交通費	50,000	50,000	
		宿泊費	0	20,000	
		原稿料	150,000	50,000	
		HP維持費	250,000	250,000	
		HP更新費	0	520,000	
		JCCLS会費	50,000	50,000	
		WASPALM会費	60,000	40,000	
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	
		内保連会費	100,000	100,000	
		予備費	300,000	670,000	
		小 計②	9,710,000	9,450,000	
		B. 支出合計 ①+②			13,700,000
収支決算 A-B			13,391,038	13,142,030	
次年度繰越金			13,391,038	13,142,030	

日本臨床検査専門医会弔慰についての申合せ

平成 16 年 12 月 3 日

(常任幹事会制定)

平成 22 年 6 月 4 日改正

	1	2	3	4	5
(1) 会 長	○		○	○	
(2) 副 会 長	○			○	
(3) 幹 事	○			○	
(4) 監 事	○			○	
(5) 名 誉 会 員		○		○	
(6) 有 功 会 員				○	○
(7) 賛 助 会 員				○	○
(8) 関 係 団 体				○	○

〔注〕

- 1 香 典 20,000
- 2 " 10,000
- 3 弔 辞
- 4 お 花 生花 (1 基) 又は 花輪 (1 個)
- 5 弔 電 (但し葬儀に出席する場合はなし)

〔備 考〕

- 1 関係団体の場合は団体の長、賛助会員の場合は社長とする。
- 2 弔慰を表すのに旅費が必要な場合は、支給することができる。
- 3 その他、特に会長が必要と認めたものは、弔慰を表すことができる。
- 4 この申合せの改廃は、常任幹事会の承認を得なければならない。
- 5 この申合せは、平成 22 年 6 月 4 日から施行する。